

アフリカデー・レセプション2024
(5月24日(金) 18:00-18:30)

アフリカ外交団団長、
エスティファノス・アフォワキ・ハイレ、
駐日エリトリア大使閣下、
アフリカ外交団アフリカデー実行委員会委員長、
ブラモ・ネルソン駐日リベリア大使閣下、
各国大使の皆様、御列席の皆様、
外務大臣政務官の高村正大です。

「アフリカデー・レセプション2024」の開催、
誠におめでとうございます。本日は、日本政府を代表
して挨拶申し上げます。

まず、アフリカ連合、A Uの前身であるアフリカ統一機
構の設立から61周年を迎えたことについて、心から
祝意を表します。

A Uがアジェンダ2063を定めてから、昨年で10年
が経ちました。この間、アフリカ大陸自由貿易圏の運
用が開始されるなど、経済・社会の様々な分野で大き
な進展があり、日本も様々な形で後押ししてきました。
私自身、日本・A U友好議員連盟の活動の一環で、2
018年と2020年の2度にわたって、アフリカ8
か国を訪問し、アフリカの発展や日本との協力の現場
を見てまいりました。

アフリカの人口の46%は、19歳以下の若者です。また、2050年頃には、世界の4人に1人はアフリカ人になるとの推計もあります。

日本は、アフリカの将来を担う若者のため、産業人材育成イニシアティブ、いわゆるABEイニシアティブなど、様々な形で人材育成に貢献してきました。

今後も、教育機関、民間企業と連携して人的交流を進め、共に日・アフリカ、さらには世界の将来を切り開く若者や女性を育てていきたいと考えています。アジェンダ2063に掲げられる目標の実現に向け、アフリカの発展や人材育成を後押ししてまいります。

日本は、1993年にTICADを立ち上げて以来、30年にわたってTICADプロセスを通じて、アフリカと共に取り組み信頼関係を構築してきました。

本年8月に東京でTICAD閣僚会合を開催し、来年8月には、横浜でTICAD9を開催します。これらの会合を、日本とアフリカの関係を多層的に広げる有意義な機会とし、躍動するアフリカと共に、双方の課題解決を共創する取組を進めてまいります。

日本とアフリカの関係の一層の友好を祈念し、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。御清聴ありがとうございました。